

作品について

社会に向けて強い信念で声をあげたかと思えば、そばに集う人びとの言葉に優しく頷き、ユーモア交じりに語らい合う。くるくると豊かに変わる表情。1956年福島生まれの遊歩（ゆうほ）さん。幼いころから学びを諦めさせられ、障がいや性別によって差別し、排除しようとする社会に憤りを抱えてきた。ずっと自分の居場所を探していた。そんななか繋がった「福島県青い芝の会」、米国留学で出逢った自立生活運動、そしてフェミニズム。それらのすべてを糧に日本初の自立生活センターの設立に尽力し、国際会議に参加、優生保護法を変えるきっかけにもなった。そして奇跡だと感じた妊娠、出産。

2026年／日本／82分　監督・撮影：淺野由美子　制作・撮影・編集：藤野知明　配給：東風

★日本語字幕つき上映

遊歩さんの言葉に、身体にエンパワーメントされた淺野由美子による監督デビュー作。『どうすればよかったか？』（24）で併走した藤野知明が撮影・編集・プロデューサーを務め、二人三脚で作品を作り上げた。カメラは、車椅子でぐんぐん進んでいく遊歩さんを追いながら、彼女のパワーの源とその想いを受け止めてきた人びとも映し出す。激しくぶつかり合う姉と父親の間で揺れ動いてきた妹の愛子さん。同じ特徴を持って生まれ、海外で障がいのある人の権利向上を図る研究所に勤めながら大学院にも通う娘の宇宙（うみ）さん。そして、自由な関係を築きながら日々をともにする若い介助者たち。

私たちはひとりでは生きていけない。誰もが、誰かと支えあいながら生きている。遊歩さんの軌跡を辿っていくと、私たちも一緒に、これからどこまでも行けそうな気がする。

チケットの入手方法（2通り）
① ドラマシアターどもで販売
② 予約フォームで受付（QRから）
フォーム予約は当日、前売料金をお支払いください。
各回50名／開場30分前

江別上映会

11月28日（土）

10:00	上映後に「安積遊歩さんトーク」
14:00	上映前に「安積遊歩さんトーク」
17:00	上映後に「淺野由美子監督トーク」

参加費

区分	前売	当日
一般	1,500円	1,800円
障がいのある方	1,000円	1,000円
学生	1,000円	1,000円
高校生以下	500円	500円
介助者	無料	無料

お問い合わせ｜ともども映画会実行委員会・中村
電話 090-2075-0136　メール tomodomo.theater2026@gmail.com
会場｜ドラマシアターども（江別市2条2丁目7-1）
入口階段あり／車いすの方は予約時にご相談ください。






映画『遊歩 ノーボーダー』

（C）2026動画工房ぞうしま